

事業実績書

団体名	おおどのコミュニティ協議会
-----	---------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

働くところがあり、心豊かに暮らし続けることができるまちづくり

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	連携強化とつながる活動の推進		
	事業名	地域情報の発信と広報活動事業	決算額	548,997円
		地域コミュニティ推進事業(つながり)	決算額	17,184円
②	視点	安心・防災意識を高めよう		
	事業名	地域見守り活動事業	決算額	42,957円
③	視点	地域個性を活用したにぎわいの創出		
	事業名	伝統文化の保存継承事業	決算額	509,622円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
① 各町内会をはじめ各団体との連携強化や情報共有を図るため、「チーム大殿」の視点での広報紙の一元化「地域情報おお！どの(仮)」の発行及びホームページの定期更新に努めた。地域の皆さんの意見を拾う取り組みとして、車座トークへの意見募集や広報紙名称の募集などを実施した。広報紙を通じた地域コーディネートの在り方を引き続き模索していく。 研修事業では、庭木の学校(6月中止、10月実施)及び、消防出初式視察研修(1月中止)を計画していたが、コロナ禍にあって一部の実施となった。10月に実施した庭木の学校ボランティア編ではセンター定期利用団体の清掃作業と同日実施ができた。今後は参加者同士の交流を深める事業へ発展させる工夫をしていきたい。	◎
② 「地域見守り活動事業」は、見守り関係団体懇談会をあんぜん部会と大殿小学校PTAとの共催で開催し3年目を迎えた。今年度は案内団体も17団体に増え「地域での緩やかな見守りを進めるアイデア」や「見守りが必要な箇所の洗い出し」などで意見交換を行い、広報紙を通じて地域にも発信してきた。 引き続き、「チーム大殿」の視点で地域ぐるみでの見守り意識を高めるための活動や懇談会での協議を情報発信していきたい。	◎
③ 地域の伝統文化(祭り)を通して地縁の強化を図るため取り組んできた「2020つながる大殿七夕ちょうちん事業」は、コロナ禍にあってでもできることをやろうという実行委員会の方針のもと、町内会等のちょうちんや学習会は中止したが、「お家で軒先ちょうちんを飾ろう」と呼びかけた。軒先ちょうちん100セットの協賛をいただいたほか、飾った写真を送ってもらい、HPで軒先ちょうちんギャラリーとして発信することができた。また、マスコミ4社から取材を受け、テレビや新聞でも取り上げられ事業をアピールすることができた。地縁の復活を検証しながら持続可能な事業運営を模索していく。 また、地域のお宝や魅力を発信する事業の協議も進め、学習会用資材(冊子)の調達もできたので次年度は学習活動に力を注ぎたい。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第5期大殿地域づくり計画策定年次にあたり、コロナ禍での会議の持ち方を模索しながら協議を重ね、案を取りまとめることができた。

専門部会(あんぜん部会・やすらぎ部会・にぎわい部会)と運営委員会の位置づけとして、

・専門部会は、地域課題一つ一つの視点を明確にしてその解決策を協議、検討する。

・運営委員会は、地域内の連携強化のため「まず知り合うことから」というスタンスで協議を重ねている。

基本目標の「働くところがあり」に込めたやりがいやいきがいにつながるよう、地域住民に幅広い参加を促すタイムリーな情報発信に努めた。また、「チーム大殿」の視点で広報紙一元化を仮称でスタートさせた。広報紙の名称は広く地域から募集し、次年度から新しい名称で発行する運びとなった。紙面づくりにも地域の皆さんの声を拾う取り組みを進めていきたい。

引き続き、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらい、参加してもらい、参画してもらい、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していきたい。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5,738,343円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務局員:4名(補助スタッフ含む)</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費及び事務費</p> <p>(成果・評価) 新規雇用2名を迎え、業務の見直しと効率化及び調整業務に重点に置いた運営に努めた。</p> <p>(今後に向けて) 「チーム大殿」構想に向けた中間支援として、誰もが担える事務局を目指したい。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域情報の発信と広報活動事業
事業費	548,997円
事業概要	<p>(実施内容) ホームページの定期更新。広報紙一元化は地域情報おお！どの(仮称)でスタート。</p> <p>(実施時期) 令和2年4月～令和3年3月</p> <p>(参加人数) 182人</p> <p>(成果) 事業の告知・報告のほか、地域の各団体からの情報を発信できた。紙面を通じ、車座トークへの意見や広報紙名称募集など地域の皆さんの参画を促した。</p> <p>(評価) 広報紙一元化は仮称でのスタートを切った。事業目的の共通理解にたつて年度ごとの「到達点」を明確にし、段階を踏んだ調整を進めていく必要がある。</p> <p>(今後に向けて) 地域の皆さんを巻き込んだ情報発信のありかたを引き続き検討していく。</p>

事業名	地域行事の活動支援事業
事業費	301,444円
事業概要	<p>(実施内容) 成人式記念写真贈呈、大殿地区ロードレース大会活動支援(雨天用資材) <u>中止した事業</u>:町内親睦大運動会種目支援、ほたる観賞Week! 大殿のおもてなし(委託費等)、大殿ふるさとまつり活動支援(委託費等)</p> <p>(実施時期) 令和3年2月8日、2月中旬</p> <p>(参加人数) 246人</p> <p>(成果) 地域行事の多くが中止となり、会議や広報紙を通じた告知を丁寧に行うことにシフトした。</p> <p>(評価) 事業中止となったが、実行委員会や関係団体との連携を意識づける機会となった。</p> <p>(今後に向けて) 事業を通じた連携強化や住民の参加意識の醸成を図っていきたい。</p>

事業名	地域コミュニティ推進事業
事業費	1,131,540円
事業概要	<p>(実施内容) 地域づくり計画策定委員会の開催及び町内会を中心とした関係団体との連携強化。活動拠点の充実。</p> <p>(実施時期) 令和2年4月～令和3年3月</p> <p>(参加人数) 700人</p> <p>(成果) 会議は3密対策を徹底して実施。顔を見て話すことで互いに共有し合うという意識が高まった。</p> <p>(評価) 書面決議の総会から6月まで会議ができなかったため、その後の会議への参加率が例年より高かった。</p> <p>(今後に向けて) 参加者が「チーム大殿」を意識した活動へつなげる視点が持てるような会議運営を模索していく。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域コミュニティ推進事業(つながり)
事業費	17,184円
事業概要	(実施内容) 研修事業の実施(庭木の学校6月中止、10月実施、消防出初式の視察研修1月中止) (実施時期) 令和2年10月17日 (参加人数) 136人 (成果) 研修事業では参加者の学習意欲やボランティア意識の把握ができた。10月に実施した庭木の学校ボランティア編ではセンター定期利用団体の清掃作業と同日実施ができた。 (評価) 研修事業は新たな参加者を巻き込むための学校シリーズ(多様なメニュー)の検討や参加者同士の交流を深める工夫も必要。 (今後に向けて) 引き続き、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらい、参加してもらい、参画してもらい、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していく。

事業名	助成金交付事業
事業費	261,500円
事業概要	(実施内容) 地域づくり計画に掲げた課題の解決につながる事業を実施する7団体に助成金を交付した。なお、事業を中止した団体から助成金返納済み。 (実施時期) 令和2年4月～令和3年3月 (参加人数) 68人 (成果) 厳正な審査の実施及び次年度募集への申し送り事項が整理できた。 (評価) 事業の事前告知と事務局でのサポートにより申請しやすい仕組みづくりに努め、新規団体への助成は1件増えた。 (今後に向けて) 募集案内や審査委員の見学結果などを発信し、地域での認知度を高めるよう工夫していく。

(3) 地域福祉

事業名	三世代交流事業
事業費	53,229円
事業概要	(実施内容) 三世代交流事業として令和2年度「大殿ペタンク大会」を開催。 (実施時期) 令和2年10月4日 (参加人数) 100人 (成果) 令和2年度「大殿ペタンク大会」は夏休みが短縮となったため、わくわくチャレンジ教室に組み込んだでの実施予定を10月に変更して実施。当日は3密対策を行い、スタッフは進行、タイムキーパー、記録など役割分担もスムーズに運用できた。審判は今回も体育委員会からの協力が得られ、「チーム大殿」が感じられる事業となった。参加16チーム中子どもの参加が25人と増えてきたことは大きな成果。 (評価) 「チーム大殿」の意識で体育委員会との連携が進んだほか、参加者が楽しく交流できる場になってきている。 (今後に向けて) 引き続き、子どもたちの参加を促すため「わくわくチャレンジ教室大殿」との共催を視野に実施していく。

(3) 地域福祉

事業名	健康づくり事業:健康体操教室活動支援事業
事業費	40,000円
事業概要	(実施内容) 行くっちゃ！おおどの健康体操教室への活動支援。 (実施時期) 令和2年5月～7月、9月～11月、令和3年1～3月(中止) (参加人数) 720人 (成果) 健康寿命を伸ばすことに意欲のある人が集まり、高齢者の健康づくりに役立っている。大殿ペタンク大会への参加をきっかけにペタンクの貸出回数も増え、ペタンク体験人口を増やすことにつながっている。 (評価) 高齢者の健康づくりへの関心が高まることや仲間づくりに寄与することが期待できる。 (今後に向けて) 仲間づくりから町内会等で老人クラブ結成へとつながることを期待し、活動支援を継続していく。

事業名	健康づくり事業:健康ウォーキング事業
事業費	34,184円
事業概要	(実施内容) 三世代交流事業の見直しを2年かけて行い、今年度新規事業として健康ウォーキングを実施。 (実施時期) 令和2年10月18日 (参加人数) 122人 (成果) 事業実施にあたり、部会員からコースの案を出してもらい、募集内容や役割分担などを部会全体で協議して準備を進めた。新規事業にも関わらず募集人数を上回る参加希望があり、総勢47人、秋を満喫するウォーキング事業が実施できた。 (評価) 誰でも気軽に健康づくりに取り組めるように企画したウォーキング事業は、事業の目的と参加の意欲とのマッチングがうまくできた。 (今後に向けて) 継続実施や回数を増やしていくために、健康づくりへの意識づけや参加者同士の交流の持ち方を工夫していく。

事業名	おおどのたすけあいのまちづくり事業
事業費	80,000円
事業概要	(実施内容) おおどのたすけあいのまちづくり事業の情報共有、ボランティア育成活動の支援。 (実施時期) 令和3年1月 (参加人数) 101人 (成果) 部会で活動支援している介助ボランティア養成講座についての情報共有ができた。今年度は5講座・延べ10日開催し、研修課程の修了者は5人、地域ボランティアの養成支援ができた。 (評価) 研修実施の情報や成果報告が部会で共有できた。地域福祉については、「チーム大殿」の視点で情報共有していく必要がある。 (今後に向けて) 介助ボランティア養成講座の活動支援を継続するとともに、部会次第に毎回、地域福祉に関する情報提供を組み込んで、情報共有をはかっていく。

(4)安心・安全

事業名	大殿地区安心安全のつどい事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 安全意識・災害時の意識啓発を目的とした「大殿地区安心安全のつどい」事業だが、同時開催の「大殿ふるさとまつり」の中止にあわせて事業を中止することを部会協議で決定した。 (実施時期) 部会協議:7月30日 (参加人数) 13人 (成果) コロナ禍での事業実施の考え方や部会事業の優先順位を検討の上、中止とした。 (評価) 部会協議でリスク管理ができた。 (今後に向けて) つどい事業は安全意識や防災意識を高めてもらう啓発活動の場のひとつであり、実施・中止いづれの場合でも部会の総意で進めていくことが重要。

事業名	自主防災活動推進事業
事業費	21,993円
事業概要	(実施内容) 自主防災活動推進、住民の防災意識を高めることを目的とした「防災の学校」を実施した。 (実施時期) 令和2年9月26日 (参加人数) 53人 (成果) 資料の準備や当日の運営も部会員が中心となって実施できた。質問への回答時間が取れなかったが、防災の学校Q&Aとして広報紙で発信することができた。 (評価) 講師の話がわかりやすかった。感想や質問からも参加者の防災意識が高いことがうかがえた。 (今後に向けて) 地域の防災意識を高めるための学習活動を継続していく。3密対策で質問への回答時間が取れなかったことから全体のタイムスケジュールの検討も必要。

事業名	地域見守り活動事業
事業費	42,957円
事業概要	(実施内容) 部会と大殿小PTAの共催で第3回見守り関係団体懇談会を開催した。 (実施時期) 令和2年11月5日 (参加人数) 52人 (成果) 17団体(新規4団体)24人が参加し、意見交換のテーマ「地域でゆるやかな見守りを広げていくためのアイデア」や「見守りが必要な箇所」を地図に落とし込んで情報共有できた。懇談会の協議内容は広報紙やホームページで発信できた。 (評価) 参加団体が増えていることから見守り活動への期待は高まっている。 (今後に向けて) 「チーム大殿」の視点での懇談会の継続実施。ゆるやかな見守りのルールづくりと実効確保のための協議を深めていきたい。

事業名	反射鏡設置事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 各町内会に要望調査を行ったが希望が無かった。 (実施時期) 令和2年4月～令和3年3月 (参加人数) 33人 (成果) 事業の進捗について、随時三役会に情報提供できた。 (評価) 当該事業は交付金とは別の枠組みでの補助金交付が望ましい。 (今後に向けて) 自治会活動の手引きに組み込む等、交付金の枠組みから外してもらうことを要望したい。

(5)環境づくり

事業名	環境整備事業
事業費	54,117円
事業概要	<p>(実施内容) 地域内の環境整備(作業資材費及び処分費)</p> <p>(実施時期) 令和2年10月17日</p> <p>(参加人数) 71人</p> <p>(成果) 庭木の学校での研修にあわせて環境整備を実施した。</p> <p>(評価) 研修事業(庭木の学校)への参加者の声からも環境整備への関心は高い。</p> <p>(今後に向けて) センター定期利用団体の清掃活動との同日開催での作業で、参加者同士の交流を深める工夫をしていく。</p>

事業名	土木工事(法定外公共物・単市土地改良)平成28年度より市に返還
事業費	-
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>(実施時期)</p> <p>(参加人数)</p> <p>(成果)</p> <p>(評価)</p> <p>(今後に向けて)</p>

(6)地域個性創出

事業名	伝統文化の保存継承事業
事業費	509,622円
事業概要	<p>(実施内容) 地縁の復活をめざして取り組んでいることを実行委員会で共有し、コロナ禍にあってもできることとして、「お家で軒先ちょうちんを飾ろう」と呼びかけた。次年度に向けて竹の在庫チェック(11月)竹伐り作業(2月)を実施した。また、地域のお宝・魅力発信として「大殿界限今昔物語」冊子の活用について部会協議を行い、次年度事業のための教材として調達することを決定した。</p> <p>(実施時期) 令和2年7月～令和3年2月</p> <p>(参加人数) 310人</p> <p>(成果) ちょうちん事業では、軒先ちょうちん100セットの協賛をいただいたほか、飾った写真を送ってもらい、HPで軒先ちょうちんギャラリーとして発信することができた。また、マスコミ4社から取材を受け、テレビや新聞でも取り上げられ事業をアピールすることができた。 継続して協議してきた地域のお宝、魅力の発信のアイデア出しでは、冊子を活用した学習会やまちあるきを次年度からの事業計画とすることが部会協議でまとまった。</p> <p>(評価) コロナ禍にあってもできることをやろうという方針のもと、軒先ちょうちんを呼びかけ地域の皆さんの協力が得られた。また、地域のお宝・魅力を発信する事業(1年目は学習会、2年目はまちあるき)は地域の皆さんの参加が大いに期待される。</p> <p>(今後に向けて) 会員による事業運営から住民を巻き込んだ事業運営にシフトしていくという視点も入れた協議を深めるとともに、参加したくなる募集告知の打ち方も検討していきたい。</p>

事業名	体育振興事業
事業費	6,000円
事業概要	<p>(実施内容) 体育推進委員の研修参加支援を行い伝達講習として部会でクップ体験も実施した。</p> <p>(実施時期) 令和2年5月～令和3年3月</p> <p>(参加人数) 73人</p> <p>(成果) 研修参加支援についての部会協議により体育振興に関する情報共有ができた。</p> <p>(評価) 推進種目を決めたことで、体育推進委員さん等の研修参加を促す支援につながった。</p> <p>(今後に向けて) 推進種目の体験会や将来的にクップ大会を体育委員会と共催で実施することも視野に、にぎわいの創出の観点からも協議を深めたい。</p>